

西部本社環境行動計画

西部本社環境委員会

【各部局共通の課題】

福岡本部は賃借ビルのため基本空調は定額で、室温管理による大幅な削減が難しい事情があるなか、2018年度は再レイアウト工事の影響で空調機の停止期間などが発生したため、電力使用量は前年度から8%減の17年度よりさらに32%減少しました。19年度も引き続き、削減、節電意識をもって取り組みます。ガスについては社員食堂廃止に伴い使用していません。

1. CO₂削減・節電対策

- ①OA 機器は省電力設定を活用して節電を図ります。
- ②退社時はパソコンやコピー機、照明などの主電源を切ります。蛍光灯は18年度中にすべてLEDに切り替えています。
- ③OA機器は部門ごとの所有をやめ、共有利用のOAコーナーを社内6カ所に設けています。冷蔵庫、電子レンジ、ポットの電気機器も同様に、パントリーにて効率的な共有化を進めています。
- ④5月1日から10月31日まで、ノー上着・ノーネクタイによるクールビズを推奨し、室温を5月は26℃、6月から28℃になるように設定して節電対策に努めます。
- ⑤朝日ビルの基本空調は28℃(5月は26℃)の設定にし、本社が独自に設置しているエアコンについては、各部門で個別に風量の調整やオンオフをこまめに行い、送風で対応できる時は送風を使い、風量も絞ります。
- ⑥内勤の職場を中心に、ノー残業デーを実施します。
- ⑦印刷工場分野では、設備を扱う際、常時CO₂削減・省エネルギー化を意識して運用しています。福岡工場では、16年11月に輪転機待機電力低減プログラムを改修し、17年度以降は年間を通して効果がフルに表れています。また、建物設備の効率的な運転にも努めており、空調・熱源としては電力で動かすヒートポンプモジュラーチラーと重油を燃焼させるボイラーを組み合わせ、最も効率的な運転を実施しています。
北九州工場でも、ガスボイラーの使用量の低減を意識して運用しています。熱源設備は、ターボ冷凍機のオーバーホールを18年2月に実施して、より効率的な運転に努めています。また、ガスを使用する吸収式冷温水機との稼働バランスを考慮し、これらの設備間で最も効率的な稼働をしています。
- ⑧福岡本部では社員食堂が15年2月24日に廃止となり、ガスは使用していません。19年度は、電力使用量を18年度より減らすことを目標とします。

2. 紙の節減と再利用・再資源化

- ①プリント用紙やコピー用紙の使用量を把握し、前年度の実績を下回るように努めます。
- ②ペーパーレス会議を各職場でも進めており、さらに意識改革を図ります。
- ③コピーは両面印刷、プリント前には画面チェックに努めます。
- ④使用済み用紙の裏面をメモ用紙にし、封筒も再利用します。
- ⑤文書、資料の電子データ化を促進し、電子メールや掲示板を活用します。

- ⑥紙資源回収のため、収納箱の正しい使い方を励行します。
- ⑦機密書類と記事モニターは、機密保持を前提に粉碎リサイクル業者へ委託しています。

3. 一般廃棄物対策

- ①排出量の抑制と分別廃棄の徹底を継続します。
- ②プリンタートナー、インクリボン、カートリッジのメーカー回収とリサイクルを継続します。
- ③マラソン、美術展覧会、住宅展示場などで使用するパネル、展示物、印刷物では一層の省資源化に努め、廃棄については作成業者を通じ、自治体の方式に従って行います。

【部局別の課題】

1. 古紙問題

- ①決められた場所に収納箱等を設置し、古紙回収の推進に努力します。
- ②新聞本紙および別刷りの発注量を見直して適正化しています。

2. 新聞梱包材リサイクル

- ①新聞梱包材は福岡市で8店、北九州市で22店、計30店でリサイクルの回収が実施され産廃処理が定着しています。
- ②ASAから回収するリサイクル梱包材の品質向上のため、ASAに異物が混入しないよう協力要請を行っています。

3. 低公害車導入促進

15、17年度の社有車更新では低公害車を導入しました。12年12月と19年4月に福岡本部の社有車を削減、16年2月に西部本社の社有車を削減しました。19年4月現在、福岡本部の保有は2台です。今後、更新する場合にも低公害車を導入する予定です。

4. 地域社会との共生

- ① 禁煙支援、啓発運動を継続、推進します。
- ② 事業所内の喫煙室は18年度に廃止しました。
- ③ 西部本社が入っているリバーウォークのリサイクル計画に管理組合の一員として積極的に参加し、主張していきます。

5. 「荷主」としての対策

本社は既に特定荷主を解除されていますが、西部製作センターでは「荷主」としての責任を認識して、各輸送会社に引き続きCO₂削減・環境対策について協力要請しています。

以上